

2020年度

事業報告書

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

1 事業の成果

2019年度の事業を引き継ぎ、新型コロナの感染拡大に対応しながら、オンラインでの開催を導入して、以下の活動を行った。

1) 在日アフリカ人共生・協働事業

アフリカにルーツを持つ子ども・保護者を対象とした「アフリカンキッズクラブ」を運営し、アフリカ文化に触れ、交流するイベントを開催した。「アフリカンユースミーアップ」は、ユースが主体的に運営し、交流や公開イベントを実施した。また、メディアや大学での講演、SNSでの発信などでも自分たちの思いや経験を伝えた。在日アフリカ人グループ、なんみんフォーラム、移住連などと連携・協力して、難民・移民の人々への情報提供や支援、オンラインでの交流などを行った。

2) ネットワーク形成事業

TICAD-NGO 連絡グループで、第8回アフリカ開発会議（TICAD8）に関わる情報提供と意見交換会を実施した。アフリカに住む人々とオンラインでつなぎ、政治・社会に関するセミナーを開催した。シェア、国境なき医師団日本、アジア保健研修所、アジア太平洋資料センター（PARC）などと連携して「新型コロナに関する公正な保健・医療アクセスを全ての人に！連絡会」（以下「連絡会」）を設立し、情報発信やセミナーを実施した。また、GII/IDI（*1）NGO 連絡会の代表を務め、政府（外務省）との定期的対話や「COVID-19 と援助に関する意見交換会」、テーマ別の勉強会を開催した。

3) アフリカ調査・研究事業

アフリカ熱帯林の課題について、野生生物保全および日本での啓発を主に情報提供を通して進めた。食料の安全保障に関する学習会を継続するとともに、国際機関や他のNGOと協力して「世界食料デー」月間の啓発活動やイベントを実施した。

4) 政策・提言事業

南アフリカ共和国政府やアフリカ連合、アフリカの市民社会が主導してきた、COVID-19への予防・検査・医療技術への平等なアクセス拡大のための取り組みについて、上記「連絡会」を発足させて関係省庁などへの政策提言を行った。「アフリカ最後の植民地」である西サハラについて、他団体と協力してセミナーを開催し、調査協力や情報提供を行った。モザンビークの大規模開発の問題などNGOと外務省や財務省との定期協議で問題提議・協議した。

5) アフリカ理解促進

オンラインで会員交流会を開催した他、ウェブサイトの改定・更新を進め、会報『アフリカNOW』114号～116号を発行した。また、アフリカに関わるテーマでの講演やメディアインタビューを通し、理解を広げた。

6) アフリカ支援事業

モーリシャスでの貨物船座礁事故と石油流出に関してのウェブサイトなどでの情報提供、現地の市民団体と連携してウェビナーの開催など、理解を深めるとともに参加者からの寄付を送金した。

7) その他

事業の効率的、効果的な実施のために、4つの常設委員会と1つの臨時委員会を立ち上げ、それぞれ月に1回程度会合を開催して、状況の把握、分析、改善点の確認と解決策の提案、実施を行った。（委員会報告は別紙）